

並滝自然体験学習会 五感で楽しむ里山の12ヶ月

里山通信

第86号
2016.11



並滝の紅葉はそろそろ終わり。空、山、水が少しずつ冬色になってきました。十一月に入ると朝の気温も低くなります。毎年十一月から焚火をして暖を取りますが、今年は、十一月とは思えない暖かさで、火を焚かなくても大丈夫でした。

今月は、アラカシの丸太切りと玉ねぎの苗植えをしました。アラカシの木は、自然体験学習会で指導している大学生が、子どもたちのために前もって伐倒してくれました。野外料理には、活動場所です採れたなめ茸、ハクサイ、ナツハゼの実と旬の野菜やきのこをふんだんに使いました。大地の恵みが丸太切りの疲れを吹っ飛ばしてくれました。



(*´ω`)v...。o O(ヤツゼ★☆)

アラカシの丸太切り



自分の身は自分で守る。ヘルメットは山仕事の必需品。ヘルメットがずれないように大きさを調節するのに一苦労。思いの外時間がかかりました。根本の直径が20センチのアラカシの木を、長さ50センチの丸太切りにしました。細い所(直径10センチぐらい)は1時間ぐらいで切れましたが、太い部分は1時間半から2時間かかりました。真っ直ぐに切っているつもりなのに切り口が螺旋状になってしまい、直径の1.5倍ぐらい切った子どももいました。丸太は一輪車で炭焼き小屋まで運びました。アラカシの木は1月に炭焼きに詰めて焼きます。しっかり働いた後の焼き芋がたまらない♡

今月の子料理



昼ごはんは豚汁、れんこんとエリンギの混ぜご飯、おやつはナツハゼケーキを作りました。とても手際良く作ったので1時間ぐらいでできました。ごはんの後は、きれいに後片付けしました。

玉ねぎの苗植え



里山製ピザソースに欠かせない玉ねぎ。たっぷり入れると程よい甘味と旨味になります。今年もくら農園に玉ねぎの苗を植えました。大学生が掘った玉ねぎ用の溝に苗を10センチぐらい離しておき、上から土をかけました。大きな玉ねぎできるかな。



紅葉と落ち葉の絨毯の
コラボ